

第3回例会報告（2014年3月発信）

「1年生になったら」、「ドッキドキどん1年生」、3月になり多くの園で、卒園式に向けた慌ただしい毎日をお過ごしのことと思います。卒園していく子どもたち、たくましく見えますよね～。多くの子がしっかり自立している姿を見ると、ほんとうにうれしくなりますね。小学校でも、さらに立派に成長して欲しいと願うばかりです。さて、広島支部では3月2日（日）に本年度最終第3回例会を新しく竣工したばかりの比治山大学短期大学部附属幼稚園で行いました。

まずは、新しい園舎の紹介です。ステキな講堂が広島支部の会場となります。真新しい床を素足で踏みしめる感じの気持ちいいこと。



今回も、30名近い参加者の方々においでいただき、坂本真理子先生のご指導のもと、多くのことを学ばせていただきました。

【動く→表現しているときに個性が出る→生きている証】

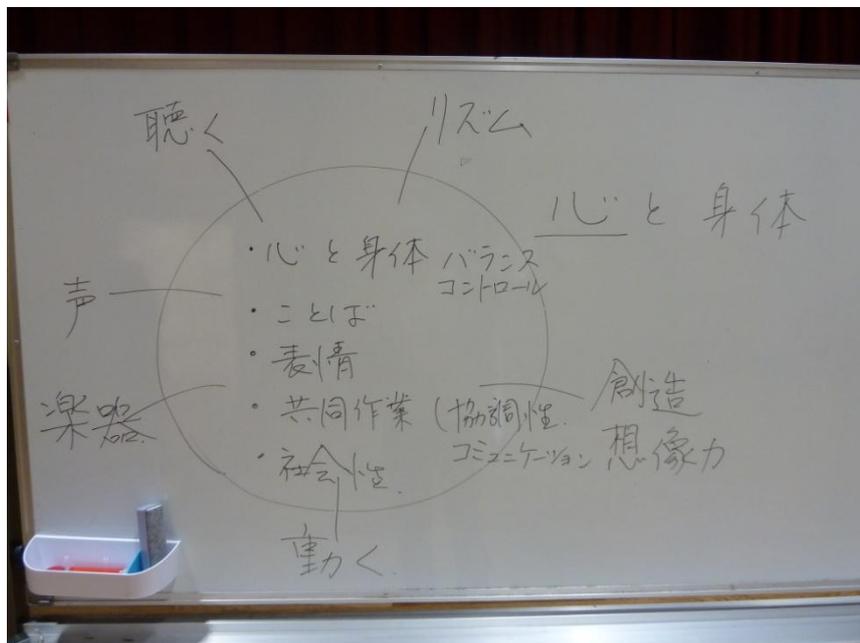


【「トリッチ・トラッチ・ポルカ」】

音楽に合わせて、「そりすべり」「直線を走る」「雪をはらう」「雪合戦」あれあれ！「村のお祭り」。なんとも自由なところが気持ちいい。



ダルクローズ曰く「遅—速 強—弱 高—低 幼児に何回繰り返しても過ぎることはない」



【弱拍から始まるフレーズ (アウフタクト)】

七面鳥、お百姓さんに分かれて、そしてフォークダンスで。



クンバイヤー（アフリカの子守歌）で。



坂本先生、今回も多くの事を学ばせていただきました。ありがとうございました。また、来年度も、どうぞよろしく願いいたします。



明日は、ひなまつり、講堂のステージには「ひな人形」が飾ってありました。